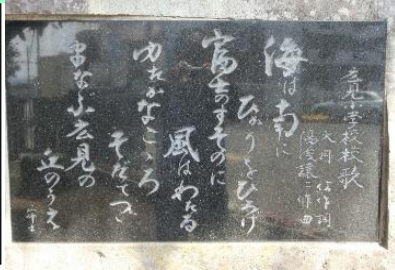




岳陽中学校 広見小学校 丘小学校

校歌作詞…大岡 信
作曲…湯浅 護一



小中一貫教育目標
一生懸命 がんばる

【校章によせて】
富岳の如く 雄大な
身体に強い意志をもち
駿河の海の 深淵な
広き心を胸に秘め
未来の日本を築く子に
広見の子等にたくす夢

【目指す子供の姿】

- ・粘り強く取り組む子
- ・当たり前のことを最後までしっかり。
- ・(授業) 温かい聴き方、
分かりやすい話し方
- ・良い悪いを正しく判断できる子
- ・相手の気持ちになって

重点目標: “いま” ががんばっていることがある

学校経営目標「ほめて 伸ばす」「みんなで頑張る」

- ・伸びたくて伸びたくてたまらない子供たちを伸ばすのは我々教員。教員からだけでなく、子供同士もほめ合う。
- ・「チーム広見」 同僚性が広見小を強くする。
- ・若手教員の育成を全職員で取り組む。

「生きる力」

- 社会に開かれた教育課程
- カリキュラム・マネジメント
- 主体的・対話的で深い学び

(県) 未来を創造する力を育む教育
夢の実現を支える教育

(市) 明日を拓く 輝く
「ふじの人」づくり
一緒に学ぶ 一生学ぶ

Plan

豊かな心(徳)

気持ちのよい学校生活を送ろう
～安心してそこにいていいよ～

- ①よりよい人間関係づくりの推進
- ②規範意識 良い悪いを判断する力
- ③「学校は楽しいところ」という意識
- ④黙って清掃(無言清掃)の奨励
- ⑤「最後まで粘り強く取り組む(やり抜く)」

【指標: 学校アンケート】

- ◆学校では、楽しく生活ができています。95%
- ◆学校では、安心して生活しています。95%
- ◆「おはよう」「さようなら」「ありがとう」などのあいさつができています。95%
- ◆友達と協力して生活しています。95%
- ◆正しい言葉遣い、ふわふわ言葉で話しています。95%
- ◆目標をもって最後まで諦めず努力しています。95%
- ◆よい悪いの判断ができています。90%
- ◆進んで友達を助けたり、励ましたりしています。95%
- ◆黙って一生懸命掃除をしています。90%

確かな学力(知)

研修テーマ
ゴールに向かって学びを深める子の育成
～「集めて つなげて 考える」追究したい問いを創り出す授業を通して～

- ①研修主題、重点を意識した授業
- ②富士市の指導の重点を意識した授業
- ③「温かな聴き方」「優しい話し方」の育成
- ④話し合い活動を通して高まったことが実感できる授業の積み重ね
- ⑤子どもの「つぶやき」を大切にしながら、よりよい追究の姿を模索する教師の姿
- ⑥効果的な ICT 機器の活用
- ⑦「ひと」「もの」「こと」の本物に触れる体験活動
- ⑧家庭学習及び学習環境の充実
- ⑨刺激し合い、高めあう教師集団(事後研の充実)

【指標: 学校アンケート】

- ◆学校で学ぶことが楽しい。95%
- ◆自分の意見や思いを友達や周りの人に伝えている。85%
- ◆先生や友達の話をしっかり聴いている。95%
- ◆決まった時間家庭学習(宿題・自主学習)に取り組んでいる。90%
- ◆家庭や学校で読書に親しんでいる。85%
- ◆授業の内容がよく分かっている。95%
- ◆授業で ICT 機器やパソコン、タブレット等を活用している。98%
- ◆ICT 機器、パソコン、タブレット等を活用すると授業が分かりやすくなる。95%

Do

健やかな体(体)

心身ともに健康な子供～目標に向かってやり抜く心～

- ①体力向上を図る場を設定
- ①自分が立てた目標に向かって頑張り続けられる子
- ②良好な生活習慣を保護者に啓発

- ・「早寝・早起き・朝ごはん」
- ・Youtube やゲームに支配されない生活

- ④運動の機会の胎教・休み時間の過ごし方

【指標: 学校アンケート】

- ◆自分のめあてに向かって運動をがんばっている。90%
- ◆手洗い、早寝、早起き、朝ご飯などの健康づくりを意識して生活している。85%
- ◆自分の命は自分で守っている。100%
- ◆苦手な食べ物でも、少しは食べるようにしている。95%

Action コミュニティスクールの推進

【地域とともにある学校】

- 家庭との連携
 - ・学習公開、個人面談
 - ・家庭学習の習慣化
 - ・各種たよりの発行
 - ・メール配信の活用
 - ・PTA役員との連携
- C.S ボランティアとの連携
 - ・図書館ボランティア
 - ・学習支援ボランティア
 - ・見守り隊(登下校)
- 地域との連携
 - ・学校運営協議会の開催(年5回)
 - ・地域行事との連携、幼保中との連携
 - ・キャリア教育の協働
 - ・「ひろみっこ」、CS だよりの発行
 - ・HP やメール配信の活用
- ・読み聞かせ
- ・クラブ活動
- ・奉仕作業等、環境整備

Check 小中一貫教育

【たての接続を意識した教育活動の展開】

- ◆丘小・岳陽中との教職員・児童生徒の積極的な交流
- ◆前期(小1～小4)、中期(小5～中1)、後期(中2～中3)で付けた力を明確にした各教科・領域9年間カリキュラムの確認
- ◆小・中9年間の系統性をもたせたキャリア教育の構築
- ◆グランドデザインの統一
- ◆学校評価アンケート項目の共有

○施設設備等の管理

- ・遊具、運動場の点検
- ・教室、廊下等の点検
- ・器具、道具の管理
- ・プールの管理、点検

○緊急時の対応

- ・いじめ防止、校内事故対応マニュアルによる確実な対応
- ・避難訓練の実施
- ・不審者対応訓練の実施

安心・安全な学校

○信用・信頼の構築

- ・コンプライアンスの徹底
- ・高い人権感覚、倫理観の涵養
- ・学校評価アンケートの実施
- ・計画的な不祥事根絶研修

○安全指導

- ・登下校の指導
- ・校内生活の指導
- ・ルールの徹底

○情報の共有

- ・アレルギー等の身体的配慮事項の情報共有
- ・連絡体制の整備

ワークライフバランス

○安心感をもって働ける職場環境

○働き甲斐を感じられる、健康及び福祉の確保

- ・月 45 時間以内の時間外在校等時間とする。
- ・年平均月 30 時間程度の時間外在校等時間とする。
- ・年間の年次有給休暇等の平均取得日数を 10 日以上とする。
- ・ストレスチェックにおける高ストレス者の割合を 10% まで減少させる。